



いいたて

議会だより



発行：福島県飯舘村議会
編集：議会広報編集特別委員会



花塚山への設置を待つ風力発電設備
～日本初の太陽光発電と風力発電のクロス発電～

予算審査特別委員会	2～3
昨年度に続く大型予算を可決すべきものと決定	
議案審議「ザ・議論」	4
飯舘村社会福祉法人経営安定化基金設置条例等について議論	
一般質問「村政ここが聞きたい!!」	5～10
5議員が登壇、村の取り組みについて問う	
審議結果	11～14
復興対策特別委員会要望活動	15
議会の動き・特別委員会活動・編集後記	16

令和2年度当初予算

相良 弘委員長

長正利一副委員長

予算審査特別委員会

一般会計予算は
123億
6,200万円

令和2年度当初予算は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に相良弘委員、副委員長に長正利一委員を選出し、3月11日から3日間、一般会計と特別会計を審査いたしました。

一般会計は、前年比13.7%減の123億6200万円、5特別会計は前年比17.0%減の25億7796万円、予算総額は、前年比14.3%減の149億3996万円となり、当初予算の規模としては昨年度に続く大型予算となりました。

委員の活発な発言により審査が行われ、新年度一般会計予算が賛成多数で、5つの特別会計が全会一致で可決すべきものと決定されました。

村長選挙について

質問 10月に行われる村長選挙及び議員補欠選挙の運動期間は。

答弁 10月13日告示・18日投票開票日とし、選挙期間を震災以後、10日間とついでありますが、通常に戻して5日間とします。

携帯電話不通話地域について

質問 令和2年度は携帯電話不通話地域の大倉（木戸木）と八木沢に建てる予定であるが、その他要望があれば建てるのか。

答弁 不通話地域は、まだありますので、要望をいたします。事業者が採算がとれるのか、その事業者が取り組むか否か、また、国の補助金が付くか否か等の問題ありますが、不通話地域について全て要望しているところです。

なりわい事業について

質問 山林資源を活用したなりわい事業での原木しいたけ・製炭産業についてどのように考えているのか。

答弁 村内の森林は放射性物質が入っているというところまで敬遠されており、村の山の本が利用できないかどうか実証試験を3年かけて行っており、来年度は2年目になります。どの程度活用できる可能性があるのか、あるいはどのくらい灰に残留するのかを実証試験の中で確認していきます。

もりの駅まごころについて

質問 内部修繕の予算が計上されているが、今後どのように使用していくのか。

答弁 今まで森林組合



▲修繕されるもりの駅まごころ

の事務所としてお貸ししていただきました。

令和元年度に外壁・

外構の修繕を行いました。が、今月で退去することになり、来年度は内部の修繕を行います。

直売所まではまだ計画はありませんが、村で特産品、例えば餅や漬物、みそなどの加工品を売っていく上で加工場は必要だと思っております。

利用者の声を聞きながら機器のほうの整備も進めて参りたいと考えております。

教育委員会事務局 局費について

質問 絵本作家いせひでこ先生の絵画を購入とあるが、何点をいくらかで購入するのか。また、金額の根拠は。

答弁 絵画1点を200万円程度で購入予定です。金額の根拠については、絵画の大きさや内容等もありますが、先生からの見積もりではなくお話の中の金額となっております。

河川の土砂撤去について

質問 台風19号でかなりの土砂が堆積している。河川について再発防止も含めて土砂の除去をお願いしたい。

答弁 国土強靱化等の事業も含めてその辺を協議しながら令和2年度内で考えてまいります。

復興拠点等整備総合調整業務について

質問 復興拠点及び特定復興再生拠点整備に関する助言、アイデア提供、技術的指導等に1500万円とはどのようなものか。もつと削減すべきではないのか。

答弁 中学校でのラオスとの交流や日本人の忘れ物などの事業、様々な方をご紹介いただき、そこを糧に、花まる学習会、笑育などをセッティングしていただきまして、今の事業に至っております。

この方の情報で今の飯館村があると言っては過言かもしれないませんが、是非、ご理解を願います。

ホストタウン推進事業について

質問 ラオス集会所建設負担金として120

万円とあるが、目的はなにか。

答弁 ラオスのドンチャイ村ではさまざまな施設が不足しており、なかでも集会所がないということ。村ではラオスとの友好の切手シートを10000シート作り、900部を1シート13000円で販売し、売上が117万円ほどになりますので、250万円の建設費のうち120万円を集会所建設に支援するものです。

草野小学校の改修工事について

質問 目的と効果は。

答弁 9年間放置状態であり、水回りや電気関係の設備、電話、LANの配線の整備工事が必要です。

地域づくり協力隊の事業として空き教室利用や振興公社の事務所としても活用していく

予定であり、最低限の水回り等を直しておくというのが工事の目的であります。

ミュージカル鑑賞事業について

質問 この事業の経過は何か。

答弁 親子の絆を描いたものであり、子供達や親御さんも身近に感じやすく、心に響く内容のようです。

一緒に劇に出演者として参加できるプログラムもあり、子供達にもいい経験になるのではないかと、この事業を採用しました。

議会費について

質問 議会の録画配信

についての予算要求を議会からあげているが、2年続けて庁内査定からはじかれていくが、何故なのか。

答弁 議会事務局からオンデマンド配信とい

運転免許自主返納対策事業について

うことで当初予算の要求があったことは確かです。査定で今までの議会配信の閲覧者数や、維持経費等を考慮してゼロ査定とした経緯があります。今後、議会のほうでどうしても必要だということであれば、また要求することは差支えありません。

質問 公共交通バスの回数券、タクシードレット、あるいはシニアカー等の補助とあるが、公共交通バスの回数券及びタクシードレットに関しては5万円、3年継続ということである。シニアカーや自転車、四輪車(駆動なし)に関しての2分の1補助上限15万円というものは、年数はどれくらいやるのか。

答弁 1回を想定しております。

令和2年度各会計の当初予算額と採決状況

会計名	当初予算額	前年比(%)	採決の状況	
一般会計	123億6,200万円	▲13.7	賛成多数で可決	
特別会計	国民健康保険特別会計	9億216万円	▲1.7	全員賛成で可決
	簡易水道事業特別会計	4億3,296万円	▲23.0	〃
	農業集落排水事業特別会計	4,727万円	▲89.2	〃
	介護保険特別会計(事業勘定)	11億1,532万円	0.1	〃
	介護保険特別会計(サービス勘定)	776万円	▲11.6	〃
	後期高齢者医療特別会計	7,249万円	9.2	〃
合計	149億3,996万円	▲14.3		

ザ・議論

2月臨時会では、予算案件1件、その他案件4件、承認1件、計6件が審議され、3月定例会では、予算案件12件、条例案件8件、人事案件2件、その他案件12件の審議及び議論が交わされました。その議論の一部を紹介します。

2月臨時会

監視カメラの修繕について

質問 認定こども園への落雷ということであるが、落雷防止があつたにもかかわらず落雷したということなのか。

子供の居場所なので、学校関係含めて今後の危険性はあるのか対応策を伺う。

答弁 現在、落雷の防止のために、学校に1本と近くのスポーツ公園のグラウンドに8本の避雷針が設置されておりますので、基本的にはこの避雷針で落雷を防止するというような対策となっております。ただ、今回の落雷の場合はそれをもってしても防げなかったということ、想定外の落雷だというふうに認識しております。

避雷針を増やすこと



についても検討いたしました。業者の意見を増やすと逆に雷を呼び込むという危険性も出るという意見をいただいておりますので、それについて今のところ実施の見込みはありません。

一方で、電源、コンセント部分の雷ガード等、そういったものを追加して対策をしてまいります。ただ、システムの関係上、有線つながっている部分があり、どうしても侵入を避けられないところがありますので、その辺のところは何ともしようがないというのが現状です。

3月定例会

一般会計補正予算について

質問 深谷復興拠点の備品、ブロンズ像の予算が減額になった理由は何か伺う。

答弁 当初3000万円予算をとっておりましたが、同じものが2つということだったので、村のほうで総合的に判断して1つにさせていただきます。今回1350万円の減とさせていただきます。

場所については、まだい館の裏側に設置を予定しております。

飯舘村社会福祉法人経営安定化基金設置条例について

質問 この基金の財源はどこから持ってくるのか。また、目標額は幾らに設定するのか。

使用目的として、単なる赤字補填なのか。人材を確保するためなら、人材を確保するための方法はどのようになっているのか伺う。

答弁 今のところ目標額は幾らというものは設定しておりませんが、毎年3000万円程度積み立てできればいいのかなと考えております。財源の中身は、当然一般財源です。

質問 再建計画をつくる示すべきだ。また人材の確保についても、何らかの計画を作ると、議会に示すべきだと思ふし、今後も毎年議会にも報告をすべきだ。

答弁 全くそのとおりでありますから、決して何もやっていないわけでありませぬので、その提示をまとめていただくさせていただきます。

質問 村長が理事長で

第一の責任者だと思ふので、もう少し重く受けとめていただきたいという事と、条例制定理由の文章の中身をもっと明確な理由、詳細に変えるべき、具体性に欠けていると思う。

答弁 説明不足だったということとは否めませんので中身をもう少し精査をして、わかりやすく説明できるようにしていきたいと思ふます。

できるだけ先ほど質問をいただきましたように現在の状況等を出していきたいと思ふますので、ぜひこの機会に承認をいただければ、それにおこるごとなくしっかり経営をしていきます。



ズバリ 村政

一般質問 Q&A

ここが
ききたい!!

3月定例会の一般質問には5議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載します。

佐藤 八郎 議員

- 1 村民生活再生について
- 2 村民生活支援について
- 3 企業(事業・生業)支援について
- 4 放射性物質(毒物)処理について
- 5 村民の健康・環境について
- 6 村長選の公約について
- 7 村民生活関連予算について
- 8 帰村された村民の健康状態について

佐藤 一郎 議員

- 1 営農再開の取り組みについて
- 2 特別養護老人ホームの経営について

佐藤 健太 議員

- 1 村政運営について
- 2 村の支援団体について
- 3 旧学校や公共施設の利活用について

高橋 和幸 議員

- 1 企業誘致について
- 2 村内の美化計画について
- 3 緊急時の村内備蓄能力について
- 4 再生可能自然エネルギーの活用について
- 5 行政について

長正 利一 議員

- 1 宿泊体験館「きんり」について
- 2 いいたて新春村民のこころについて
- 3 ふるさと納税返礼品について
- 4 男性職員の育児休暇について
- 5 第6次総合振興計画策定について

※ 一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などの見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく政策議論です。



佐藤 八郎 議員

質 見えない、臭いもない放射線は身体に悪影響です

答 予防対策、内部被ばくや甲状腺検査をすすめます

質問 原発事故により多くの村民は放射性物質による被ばくをした。除染基準は5mSv/年未満としたが、事故前の1mSv/年未満とする為の施策を村民に示すべきである。国が降散した核種は31種類なのに村は4〜5核種しか問題にしないとしているが役場前のサザンカの変化、村内の動植物の変化、そして、こ

こ数年、病気の発症も何倍にも増えている。放射線被ばくの実態を示せ。
答弁 長期的には追加被ばく線量が年間1mSv/年以下を目指すという事は村も同じ考えであり、今後も早期に実現できるように国に求めてまいります。140人の方々の積算線量計の推定年換算線量の平均値は1.05m

村民生活の支援にCS2

質問 避難解除後の買い物場所が、帰村された村民や働く労働者にとって、原発事故前のように、草野・飯桶・白石地区の商店は必要であり、現実には2地区に出来て営業されていた。道の駅のコンビニ二への支援と、白石地区のコンビニへの支援に違いがあり、白石地区のコンビニは閉店となっていました。行政として買い物場所確保の努力、2店舗とする為の施策を示せ。

答弁 深谷の道の駅のコンビニは復興拠点として様々な協議を重ねてようやくオープンす

CS2

ることができました。復興拠点を2つ3つと作れば応援も可能ですがそうはいかないので、今後、開店してくれる所があれば村の決まりの中で出来る範囲で一先懸命応援させていただきます。

質問 既存企業で、村から長期の公金で助成されている会社の幹部社員が3人ほど退職したが、村ではそのことについて何か知っていたのか。
答弁 その事実については何も把握しておりません。
質問 この会社の株は村としては取得しているのか。
答弁 取得しておりません。

除染廃棄物の処理

質問 放射性物質(毒物)処理で、仮置き場での作業内容について

村民に誤解されているところがあるが、内容と汚染物280万袋の処理状況・遮蔽土の量を伺う。

答弁 61万袋は蔵平減容化施設へ、不燃物については44万袋を中間貯蔵施設へ、3万袋を長泥行政区へ、うち、350袋を実証事業で使用したところであります。

質問 これまでの箱物、

公共施設の維持管理費にCS2

現在、可燃物が18万袋、不燃物が130万袋、合わせて約148万袋のフレコンバックを村内の仮置き場で一時保管をしております。遮蔽土は各仮置き場内で破袋し、村内の工事現場、長泥地区の環境再生事業に使用するなど、最終的には全て搬出する予定となっております。

復興創生期間後の復興の基本方針にCS2

施設づくりにより、維持・運営費用が心配されているが、維持管理費用と財源計画を示せ。
答弁 維持管理費は約2億2〜3千万円ほどかかる見込みです。国県に要望して財源の確保に努めて参りたいと思っております。

質問 12月20日に閣議決定された「福島特措法」の延長により被害を受けた村民の為に何が加えられたのか、そして期間はいつまでなのかを示せ。
答弁 福島特措法は5年毎の見直しはあるが今後10年間はこれまでの復興創生期間と同様に支援される予定です。





佐藤 一郎 議員

質 営農再開の取り組みについて

答 村振興公社を含む農業経営体の参入・マッチングも検討する

質問 村全体の農業振興を図るためには農業基盤をつくり、さらなる営農再開を進めるべきである。

後継者がなかなか育たないところには、村ももつと積極的に関わらねばだし、担い手のないところには現在の村振興公社を担い手として、営農再開の受け手となるような仕組み

づくりを積極的に行うべきだと考えるが、村の考えを伺う。

答弁 営農再開の取り組みについては、平成26年から事業や支援策を展開してきました。

また同時に、平成29年度から作付再開にむけた話し合いを誘導した結果、令和元年度に18集落で地権者の土地利用意向をまとめた作

付再開計画図ができ、これを踏まえて、農業基盤整備促進事業等が推進されています。

集落への担い手のマッチングについては、集落内に土地利用型農業を計画する担い手がいる場合は、その担い手の土地利用方針を加味した合意形成を優先することとしています。が、土地利用型農業の担い手がいない、不足している場合には、集落外からの農業経営体参入もマッチングできることとしており、集落ぐみの合意形成の成果が「地域営農再開ビジョン」に位置づけられます。村としては、引き続き集落との連携を深めて集落ぐるみで担い手の把握と支援を行っていきます。

いずれは振興公社も担っていくことになるのではないかと考えています。



▲集落をまたいで参入・マッチングして営農していく上飯樋営農組合

特別養護老人ホーム

について

質問 今、村内の居住者は約1400人、世帯数は約700戸、そのうち31戸はいいたてホーム入所者と聞いている。

原発事故後はいいたてホームの職員が不足していて、さらに赤字が拡大していくのではないかと心配されているが、その実態と対策を伺う。

答弁 いいたてホームの現在の入所可能者数は、70名ですが、介護職員不足から39名の入居者数にとどまっています。待機者も30名いるものの、満床にするには法的に介護職員があと10名ほど不足している状態です。

現在の経営状況ですが、営業に係る損害賠償金や運営費補助金の毎年約1億8千万円を充てることで赤字補填をしており、現状のまま維持しますと、令和8年度には事業継続に必要な資金が枯渇し、経営が行き詰まる

ことが予測されます。現在、経営コンサルタントには、経営の分析と職員向けの課題の洗い出しをサポートしていただいております。できることから改善に取り組んでおりますが、原発事故による介護スタッフ不足が経営悪化

の大きな要因ですので、いいたてホームによる早期のスタッフ確保の努力をするとともに、村としても将来の経営安定化に向けた支援のための基金（飯館村社会福祉法人経営安定化基金）条例を、今3月定例会へ提案していただきますので、ご理解願います。



▲経営健全化に向けて支援するいいたてホーム



佐藤 健太 議員

質 村長の考える飯館村の目指すべき未来とは何か伺う

答 理想とするところは将来にわたって自主・自立の村づくりと、他の自治体にはない心温まるオンラインの村づくりを目指したい

村政運営について

質問 村長の考える飯館村の強み、弱みは何か伺う。

答 強みという点では、先人からずっと受け継いできた「飯館村」という名前ではないかと思っております。

弱みは、まずは東日

みを強みに変える事を念頭に行政運営に取り組んで参りたいと考えております。

旧学校や公共施設の利活用について

質問 白石小学校の貸し出し契約はどのような条件で、どこに何のために貸し出しをしているのか伺う。

答 白石小学校は、4月から株式会社地域創造研究所に貸し出すことしております。

契約の内容は、施設の維持管理経費と修繕やリフォームは株式会社地域創造研究所で全額を負担することとし、無償でお貸しします。

契約終了後は更地にして村に返還していただきますが、白石小学校を解体する場合には費用の半分は村と折半することとしております。

期間としては、まだ内部で検討中ですが、

おおむね5年で1回区切り、そこで自動更新するとか、再延長するとかというのは今後、株式会社地域創造研究所と相談させていただきたいと思っております。

質問 解体費用の一部も折半ということであるが、いくらかかるのか、当然見積もりをとっていると思うが、解体にどのぐらいかかる見込みか伺う。

答 白石小学校については解体の費用の見積もりはまだ徴取しておりません。

質問 きちんと見積もりをとってから契約をしないと、いざ折半となったときに大変なことになる可能性もあるのでは、ここは必ず見積もりをとって契約をするということにしてください。

貸出先の企業も1企業が倒産したというふう

になった場合には、こちらが全額を持たなければならなくなったり、解体ができなくなったり、そういったことにもなりますので、この辺に關してもこの契約は慎重にやっていた方がいい。

答 おっしゃるとおりで、貸す相手方が、優良企業であるとか、そういう見方もちゃんとしないと大変だと思います。

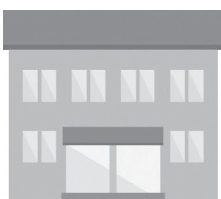
この会社は優良企業であると判断し、貸し出すこといたしました。



▲貸出される白石小学校

質問 村を語るにも非常に重要で村民の心のよりどころとなつてきた佐須地区の歴史的な木造の学校校舎はなぜ解体をってしまったのか。

答 佐須地区の旧学校校舎につきましては、当初引き続き佐須行政区にお貸しし、利用いただく方針でございましたが、佐須行政区から村に対して解体してほしいとの申請がありました。佐須行政区の総会において正式に解体するということが決定されたということから、村としては佐須行政区の意向に沿うように対応させていただいたところでございます。





高橋 和幸 議員

質 企業誘致について

答 積極的に企業誘致に努める

質問 未だに村民の期待と需要の必要性は看過出来ない。行政組織を挙げて活動強化の是非を伺う。

答弁 今後も企業立地補助金を活用し、村内の既存企業の支援を行うつつ、一生懸命やっていきます。

質問 他の被災自治体では活発に進んでいるが、飯館村では出来ない問題点、今後の対応策と特化した取り組みの必要要素を伺う。

答弁 村では、人手不足が大きな問題となっております。官民合同チームや福島求人支援チームの人材コーディネーターが事業者を個別訪問しヒアリングをするなど関係機関と連携しながら情報を発信し、事業者と求人者とのマッチングを図り、人材不足の解消に努めて参りたいと考えております。今後も企業にとって魅力ある支援策を庁内で検討します。

美化計画について

質問 美しい村の名に相応しい環境、地域づくりをどの様に図っていくのかを伺う。

答弁 不法投棄の監視廃棄物の回収等を行っています。村民に協力をいただきながら、6月議会に景観形成条例を上げさせて頂ければと準備しているところです。

村の備蓄について

質問 緊急時の村内備蓄能力について、近年はいつ想像を越した自然災害の予想も出来ない。何の備蓄もない自治体は、一蹴、一笑に値する。村民の安心安全を守る具体的な行政政策を伺う。

答弁 現在、毛布、ストープに加え、飲料水3t、非常用食品として200食、副食約110食、粉ミルク20

行政について

質問 村民の求める行政の在り方に隔たりがある様に思われる。飯館村の見据える理想の行政運営と執行とは何かを伺う。

答弁 村の将来の人口減により、財源の大宗をなす地方交付税の減少は免れないものであると認識しております。村の現状に沿って様々なものを縮小しなればならない。村民やそれ以外に村に思いを寄せていただいている方々など、多くの方と

災害及び防犯対策について

質問 総光量と風量、今後の再生可能エネルギー普及をどの様に目指しているのか、居住者への供給・還元の実現化に向け、行政の見解を伺う。

答弁 平成30年度は15.3%で福島県平均を上回っています。風力の年間発電量は最大で6.4メガワット、設備利用率約25%です。発電については、東北電力へ売電目的の設置の為、村民への供給は出来かねますので、ご理解下さい。



▲深谷の太陽光発電施設

の交わりにより、人の心を育んでいくことが将来の行政運営にとって欠かせないことだと思っております。

人口減が危惧される状況の中ではありますが、移住定住施策の充実や、村の情報発信、様々な交流事業などを展開し、村を活性化させてまいりたいと考えているところです。我々のふるさとでありますので、少しでもこのふるさとを大切にしていることが先人から引き継いだ者の役目、そして、次の世代に引き継ぐことが役目だと思っています。

進言 今後共、これまで以上に村民に寄り添っていただき、我々議会にも真摯にお答えいただき村民の憂いや嘆きを取り除く事に心血を注いで貰える様強く進言する。



長正 利一 議員

質 いたて新春村民のついでについて

答 令和2年度は多くの村民に参加していただき、満足してもらえようように取り組んでいく

質問 関係者を除く一般参加者が少ないと感じられたが、来場者の状況は。また、イベント内容がマンネリ化しており、関心が薄れてきているのではないのか。予算に合わせた企画も理解はできるが、内容を見直すべきと思うが何う。

答 総勢300人内関係者を除く一般参加者163人となっている。11月中旬にいたて新春村民のついで実行委員会を立ち上げ、10大ニュースの発表や小学生による合唱、プログラム学習の成果発表に合わせ、子供から高齢者の方まで楽しめるよう「歌と絵を使用したコンサート」や落語ステージなどを行い、村民の交流を図

質 宿泊体験館(かいら)について

答 することを目的に開催しましたが、令和2年度は、より充実した内容にするために、事業費を増額して開催する予定であります。村民のご意見等を参考にしながら、多くの村民に参加していただき、かつ、満足いただけるよう取り組みでまいります。

質問 宿泊料金改定後における利用状況と、食事提供が出来るようになるまでの期間限定で、村を応援いただける方や村民への期限付き優遇措置は出来ないものか何う。

答 宿泊料金は施設の運営費等を勘案して5500円に値上げいたしました。近隣施設の料金等を参考に施設の運営に係る経費を基に算定し、他の同様な施設と比較しても高い料金設定にはなっておりません。

質 飯沼村への「ふるさと納税返礼」について

質問 飯沼村への「ふるさと納税」件数と金額、村内産の返礼品は何品あるのか。また、返礼品の採択要件は何があるのか何う。

答 令和元年度1月末現在821件で2969万2千円となっており。村内

第6次総合振興計画策定について

産の返礼品は6品あり、主なものは純米大吟醸飯館やおこし酒、刃物の館で製造された包丁、飯館産米の里山のつぶとなつていきます。採択要件は特には設定しておりません。

質問 5カ年の「新しい村づくり」に、現在の現状や将来像を慎重に見極めるとともに、できるだけ村民の意向も取り入れられるように配慮し、策定を進めるとしているが、過般行われた中間報告会の資料に「死にがいのある村」と記載されている。

答 「死にがいのある村」という文言は教育文化部会において、目指すべき村の将来像の案として提案された言葉です。言葉の意味としては「人生を終えるときは飯館村で過ごしたいと思われにくい魅力的な村をみんなで作りたい」という主旨で提案があったものと聞いています。その内容は理解しつつも、この表現は村の将来のビジョンを示す総合振興計画に記載し、村民に示す文言としては、不適切と判断をし、言葉を選定する際に、この文言を除外し、部会内でも村民にわかりやすい文言で意図が伝わるよう再検討を依頼したところです。

答 「死にがいのある村」という文言は教育文化部会において、目指すべき村の将来像の案として提案された言葉です。言葉の意味としては「人生を終えるときは飯館村で過ごしたいと思われにくい魅力的な村をみんなで作りたい」という主旨で提案があったものと聞いています。その内容は理解しつつも、この表現は村の将来のビジョンを示す総合振興計画に記載し、村民に示す文言としては、不適切と判断をし、言葉を選定する際に、この文言を除外し、部会内でも村民にわかりやすい文言で意図が伝わるよう再検討を依頼したところです。

キャッチフレーズに限らず、第6次総合振興計画の策定にあたっては、村民にわかりやすく、村民が将来に希望もてる計画書にできるよう専門部会の皆様にも、その主旨を理解いただき進めてまいります。

審議結果

令和2年2月（第1回）臨時会では、予算案件1件、その他案件4件、承認案件1件が提案され、審議の結果は原案通り議決されました。

議案は下記の通りです。

- 予算案件1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第10号)
6,310万4,000円を増額し、総額を181億8,242万6,000円とする
- その他案件1 飯舘村パークゴルフ場整備工事請負契約の変更について
庄司建設工業株式会社と2億2,140万円での契約を2億2,994万3,700円に変更。854万3,700円の増額(照明設備・案内板設置等の追加施工)
- その他案件2 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策工事(入山田・山田地区)請負契約の変更について
滝建設工業株式会社と8,963万9,000円での契約を9,310万9,500円に変更 347万500円の増額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件3 深谷地区多目的交流広場整備工事請負契約の変更について
関場建設株式会社と7億5,900万円での契約を7億5,660万2,000円に変更 239万8,000円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件4 大師堂住宅団地敷地造成工事請負契約の変更について
関場建設株式会社と1億615万円での契約を1億168万5,100円に変更 446万4,900円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- 承認案件1 専決処分の承認について
 - ・専決第1号 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第9号)
現年度発生災害復旧工事費他で2億6,303万4,000円を増額し、総額を181億1,932万2,000円とする
 - ・専決第2号 令和元年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第7号)
営農飲雑用水施設災害復旧工事費等で2,874万9,000円を増額し、総額を4億4,467万円とする

令和2年3月(第2回)定例会では、予算案件12件、条例案件8件、その他案件12件、同意2件が提案され、審議の結果は原案通り議決されました。

議案は下記の通りです。

- 予算案件1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第11号)
16億1,837万8,000円を減額し、総額を165億6,404万8,000円とする
- 予算案件2 令和元年度飯舘村国民健康保健特別会計補正予算(第4号)
211万7,000円を減額し、総額を12億154万6,000円とする
- 予算案件3 令和元年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第8号)
6,284万円を減額し、総額を3億8,183万円とする
- 予算案件4 令和元年度飯舘村農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)
639万1,000円を減額し、総額を5億153万2,000円とする
- 予算案件5 令和元年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第6号)
518万5,000円を減額し、12億7,700万円とする
- 予算案件6 令和元年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
3,821万8,000円を減額し、2864万2,000円とする
- ※予算案件7 令和2年度飯舘村一般会計予算
歳入歳出の総額を、123億6,200万円と定める
- 予算案件8 令和2年度飯舘村国民健康保健特別会計予算
歳入歳出の総額を、9億215万5,000円と定める
- 予算案件9 令和2年度飯舘村簡易水道事業特別会計予算
歳入歳出の総額を、4億3,295万9,000円と定める
- 予算案件10 令和2年度飯舘村農業集落排水事業特別会計予算
歳入歳出の総額を、4,727万2,000円と定める
- 予算案件11 令和2年度飯舘村介護保険特別会計予算
歳入歳出の総額を、11億2,307万7,000円と定める
- 予算案件12 令和2年度飯舘村後期高齢者医療特別会計予算
歳入歳出の総額を、7,249万8,000円と定める
- ※条例案件1 飯舘村社会福祉法人経営安定化基金設置条例
社会福祉法人の経営安定化に資する事業の財源に充てるため設置する
- 条例案件2 飯舘村立義務教育学校設置に伴う関係条例の整備に関する条例
義務教育学校の開校に伴い、関連する条例の一部改正及び廃止を行う
- 条例案件3 飯舘村行政機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例
村づくり推進課の新設と復興対策課を産業振興課に改める
- 条例案件4 飯舘村営住宅条例の一部を改正する条例
大師堂住宅団地の共用開始に伴う所要の改正を行う
- 条例案件5 飯舘村使用料条例の一部を改正する条例
老朽化した村営住宅の解体が決定・完了したことに伴う所要の改正を行う

- 条例案件6 東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例の一部を改正する条例**
帰還困難区域の固定資産税・軽自動車税の減免を継続するため所要の改正を行う
- 条例案件7 飯舘村税特別措置条例の一部を改正する条例**
過疎地域における課税免除等の期間を令和3年3月31日迄延長する
- 条例案件8 飯舘村介護福祉条例の一部を改正する条例**
消費税増税に伴い、低所得者の保険料軽減強化に伴い介護保険料を減額する
- その他案件1 飯舘村統合診療所「いいたてクリニック」の指定管理者の指定について**
令和2年4月1日より令和12年3月31日迄10年間期間を継続する
- その他案件2 「メモリアルホールいいたて」の指定管理者の指定について**
令和2年4月1日より令和4年3月31日迄2年間期間を継続する
- その他案件3 佐須辺地に係る総合整備計画の策定について**
村道豊栄佐須線 600メートルの改良・舗装工事を行う 5ヶ年計画
- その他案件4 比曾・岩部辺地に係る総合整備計画の策定について**
村道大火比曾線 800メートルの改良・舗装工事を行う 5ヶ年計画
- その他案件5 被災地農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設整備工事 (伊丹沢西 エリア肉用牛用施設)請負契約について**
株式会社アシストジャパンと2億900万円で契約(落札率61%)
- その他案件6 被災地農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設整備工事 (伊丹沢南 エリア肉用牛用施設)請負契約について**
株式会社アシストジャパンと2億5300万円で契約(落札率81.6%)
- その他案件7 飯舘村ライスセンター新築工事請負契約について**
仙建工業株式会社福島支店と17億2,480万円で契約(落札率98.6%)
- その他案件8 令和元年度 災第910号小滝大倉線道路災害復旧工事請負契約について**
後藤建設工業株式会社と8,712万円で契約(落札率99.6%)
- その他案件9 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策工事(外内地区)請負契約の変更について**
株式会社 小野中村と1億7,588万4,500円での契約を1億4,820万9,600円に変更 2,767万4,900円の減額(現場精査に伴う変更)
- その他案件10 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策工事(入山田・山田地区)請負契約の変更について**
滝建設工業株式会社と9,310万9,500円での契約を 9,004万2,700円に変更 306万6,800円の減額(現場精査に伴う変更)
- その他案件11 被災地農業復興総合支援事業効果促進事業 飯舘村ライスセンター等用地造成工事請負契約の変更について**
仙建工業株式会社福島支店と9,680万円で契約を 9,667万6,800円に変更 12万3,200円の減額(現場精査に伴う変更)

○その他案件12 災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業農業集落排水管路工事(草野第1地区・草野1期②)請負契約の変更について

荏原実業株式会社東北営業所と1億7,038万4,500円での契約を1億7,889万9,600円に変更 851万5,100円の増額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)

○同意1 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
渡邊守男氏を任命 令和2年5月1日から令和5年4月30日まで

○同意2 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
山田よし子氏を任命 令和2年5月6日から令和5年5月5日まで

※印については採決になり結果は下記のとおりです

○は賛成、×は反対、欠は欠席。 同数の場合は議長の採択に委ねる。

議案名	議員氏名	佐藤 健太	長正 利一	佐藤 一郎	高橋 孝雄	高橋 和幸	渡邊 計	佐藤 八郎	相良 弘	賛成	反対	議決結果
※令和2年度 飯舘村一般会計予算		○	○	○	○	○	×	×	○	6	2	可決
※飯舘村社会福祉法人 経営安定化基金設置条例		×	○	○	○	×	×	×	○	4	4	議長採決により 可決



◀3月議会定例会のようす

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。是非お出かけください。
尚、イタネちゃんアプリ・村のホームページからも視聴出来ます。

6月定例会 6月9日開会 11・12日一般質問 16日閉会(予定)

注)新型コロナウイルス感染予防の為、傍聴を自粛いただく場合があります。

飯舘村の復興と再生に関する要望書

要望先

- ・ 経済産業大臣 梶山 弘志様
- ・ 農林水産大臣 江藤 拓様
- ・ 厚生労働大臣 加藤 勝信様
- ・ 復興大臣 田中 和徳様
- ・ 環境大臣 小泉 進次郎様
- ・ 総務大臣 高市 早苗様



◀環境省への要望の様子

- 1 里山等森林域の放射性物質低減と減容化及び林業再生について
- 2 東京電力福島第一原子力発電所事故災害特別措置法（仮称）の制定について
- 3 生存権に保障されている環境整備について
- 4 農地の復旧について
- 5 帰還困難区域への対応について
- 6 介護従事職員の確保について
- 7 有害鳥獣対策について
- 8 森林環境税の算定基礎について
- 9 放射線量の測定及び線量低減対策の実施について
- 10 高速道路から復興拠点へのアクセス道路整備について

避難指示解除後の賠償等に関する要求書

要求先

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明様

1. 避難指示解除後における村民の農林業・商工業の経済基盤が事故前の水準に回復するまで、賠償を継続すること

回答 原子力損害賠償制度の下、迅速、公平かつ適正な賠償のため「中間指針」等を踏まえるとともに、「公共用地」への損失補償基準」等を参考にしておりますが、本件事故の特殊性に鑑み、また損失補償基準も商工業や農林業の産業別に補償基準が異なることを踏まえ、賠償を進めております。なお、本件事故から一定期間を経過している状況において、個別の事情ご本人の事情により休業を継続しているケースや、事故以外の要因により損害が発生しているケースなどもあり、一般的にはお支払いをすることが難しい場合もございますが、事情をお伺いし、引き続き適切に対応させていただきます。

2. 森林再生事業、里山再生モデル事業等による放射性物質の低減と減容化について、貴社の加害者責任を明確にし、技術的・経済的な負担をすること

回答 森林資源の有効活用や林業の復興に関わる重要な課題と認識しておりますが、弊社だけでは解決できない課題であることから、国または地方公共団体の施策の動向に合わせて、できることに



▲東京電力へ要求書を提出

3. 原発事故による被災者への賠償について「5つの約束」「3つの誓い」を厳守し、社員の最大限取り組んでいきたいと考えております。

回答 賠償業務に携る社員一人一人が被害を受けられた方々に寄り添い真摯に対応できるように周知・指導しており、引き続き「3つの誓い」を順守し、親切・丁寧な対応を心掛けてまいります。

4. 特別養護老人ホーム「いいいたてホーム」は原発事故により、施設の維持は危機的状況となっている。運営を継続するために介護従事職員の人的保障と事業損害賠償を継続すること

回答 人的保障は直接ご協力させていただくことは難しいと考えております。引き続き、地域復興にお役に立てるように取り組んでまいります。損害賠償については、事故と相当因果関係が確認できまされた場合には、適切に対応させていただきます。

議会の主な動き (1～3月)

《1月》

- 10日 復興対策特別委員会
- 17日 復興対策特別委員会

《2月》

- 22日 広報編集特別委員会
- 24日 全員協議会
- 27日 復興対策特別委員会
- 30日 町村議会議員研修会
- 福島圏域広域連携セミナー

《3月》

- 4日～6日 要求・要望活動
- 14日 議会運営委員会
- 17日 復興対策特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 第1回臨時議会

《3月》

- 27日 議会運営委員会
- 3日 全員協議会
- 5日～6日 本会議（一般質問）
- 6日 復興対策特別委員会
- 10日～12日 予算審査特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 17日 全員協議会
- 27日 東京電力要求書回答

特別委員会の活動

議会改革特別委員会

平成30年9月14日に飯館村議会改革特別委員会を設置し、5回に渡る委員会の協議がさ
れていきます。

第1回

平成30年9月14日
①飯館村議会改革特別委員会設置
②正・副委員長選出

委員長 佐藤一郎
副委員長 高橋和幸
委員 相良 弘
佐藤八郎・渡邊 計
高橋孝雄・長正利一
佐藤健太

第2回

平成31年1月11日
①過去の飯館村議会改革に関する経緯を確認
本委員会での検討項目とスケジュールを協議、確認

第3回

平成31年4月26日
①申し合わせ事項の訂正、確認
②次回開催時期と調査項目の確認
③申し合わせ事項の確認と改訂検討

第4回

令和元年10月2日
①広報・公聴・情報公開について
議会録画配信について
議会懇親会の開催等をどうするか
住民の議会への関心をいかに高めるか
広報関係予算と費用対効果について
②研修計画について

第5回

10月15日（火）
「議会改革注意点と議会・議員の未来」（地方議員研究会）
受講者・渡邊計委員

第5回

令和2年1月24日
①議員定数について
議員定数削減の今までの経緯と検討
②今後の検討課題
SNS利用基準の共通認識
議会報告会の開催



お詫びと訂正

議会日より第85号の中で常任委員会活動報告の写真の表記が「菊池製作所」様と「ハヤシ製作所」様とが逆に表示されておりました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

編集後記

原発事故から10年目の令和2年度が始まりましたが3月には、相馬農業高校・飯館校、村内3小学校の閉校となり、4月には小中一貫の義務教育学校が開校しました。さらにも咲き、村民の皆さんも新年度を迎え明るくなるはずでした。しかし、新型コロナウイルスウィルス感染拡大で、国は緊急事態宣言を発令しました。「不要不急の外出は避けてください。」この事態をみんなでも乗り越えよう。

発行責任者	議長 菅野 新一
編集	編集長 菅野 新一
委員長	相良 弘
副委員長	佐藤 健太
委員	渡邊 計
〃	高橋 孝雄
〃	長正 利一
〃	佐藤 一郎
〃	高橋 和幸